

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成 29 年 10 月 5 日 (2017.10.5)

【公表番号】特表 2016-529845 (P2016-529845A)  
【公表日】平成 28 年 9 月 23 日 (2016.9.23)  
【年通号数】公開・登録公報 2016-056  
【出願番号】特願 2016-538990 (P2016-538990)  
【国際特許分類】

H 0 4 W 48/06 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 48/06

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 22 日 (2017.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アクセスクラスを有する無線送受信ユニット (W T R U) によって実施される方法において、

規則に基づいたアプリケーションクラスがアプリケーションのアプリケーションクラス  
のアクセスを禁止していない条件で、前記アプリケーションが通信ネットワークへアクセ  
スするのを許可するステップであって、規則に基づいた前記アプリケーションクラスは、  
規則に基づいた前記アプリケーションクラスに依存する 1 つ以上のアクセスクラス、およ  
び、許可されたアプリケーションクラスを識別する、ステップ

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

ホームネットワークおよび訪問先ネットワークのいずれかから、前記アプリケーション  
の前記アプリケーションクラスを受信するステップ

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記アプリケーションクラスは、前記アプリケーションクラスが予め設定されたアプリ  
ケーションクラスでない場合、最も低いアプリケーションクラスを含むことを特徴とする  
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

第 3 世代パートナーシッププロジェクト (3 G P P) レイヤによって、アプリケーション  
レイヤから、アプリケーション分類情報を受信するステップと、

前記 3 G P P レイヤによって、前記アプリケーション分類情報に基づいて、前記アプリ  
ケーションの前記アプリケーションクラスを決定するステップと

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記アプリケーションが通信ネットワークへアクセスするのを許可する前記ステップは  
、前記アプリケーションクラスを、規則に基づいた前記アプリケーションクラスによって  
識別された許可されたアプリケーションクラスのリストと比較することを含むことを特徴  
とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

規則に基づいた前記アプリケーションクラスは、規則に基づいた前記アプリケーションクラスがアクティブである時間期間をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

規則に基づいた前記アプリケーションクラスは、規則に基づいた前記アプリケーションクラスがアクティブとなる時刻をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記通信ネットワークにおける輻輳のレベルにしたがって、規則に基づいた前記アプリケーションクラスを決定するステップ

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記通信ネットワークにおける輻輳のレベルにしたがって、複数の規則から、規則に基づいた前記アプリケーションクラスを決定するステップ

をさらに備えることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

規則に基づいた前記アプリケーションクラスは、規則に基づいた前記アプリケーションクラスに依存するアクセスクラスを示すための少なくとも1つのアクセスクラス識別子をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記通信ネットワークから、規則に基づいた前記アプリケーションクラスの更新を受信するステップ

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記通信ネットワークからの規則に基づいた前記アプリケーションクラスの前記更新は、前記通信ネットワークにおける輻輳のレベルにしたがって受信されることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記通信ネットワークからの規則に基づいた前記アプリケーションクラスの前記更新は、許可されたアプリケーションクラスのリストを徐々に変更する前記通信ネットワークから受信されることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

規則に基づいた前記アプリケーションクラスと優先度を関連付けるステップ

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

規則に基づいた前記アプリケーションクラスは、同一の無線アクセスネットワーク上で動作している複数の公衆陸上モバイルネットワーク (PLMN) の中からの 1 つ以上の PLMN によって適用されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】

規則に基づいた前記アプリケーションクラスは、前記 1 つ以上のアクセスクラスと、前記許可されたアプリケーションクラスの 1 つ以上との間の対応関係を識別することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記アプリケーションが、前記通信ネットワークにアクセスをして、前記アプリケーションに関連付けられたデータを送信および受信するステップ

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】

アクセスクラスを有する無線送受信ユニット (WTRU) において、

規則に基づいたアプリケーションクラスがアプリケーションのアプリケーションクラスのアクセスを禁止していない条件で、前記アプリケーションが通信ネットワークへアクセスするのを許可するよう構成されたプロセッサを備え、

規則に基づいた前記アプリケーションクラスは、規則に基づいた前記アプリケーションクラスに依存する１つ以上のアクセスクラス、および、許可されたアプリケーションクラスを識別すること

を特徴とする W T R U。

【請求項 1 9】

前記 アプリケーションのアプリケーション分類を受信するよう構成された受信機をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 8 に記載の W T R U。

【請求項 2 0】

前記受信機は、ホームネットワークまたは訪問先ネットワークから、前記アプリケーション分類を受信するようさらに構成されたことを特徴とする請求項 1 9 に記載の W T R U。

【請求項 2 1】

前記 アプリケーション分類は、予め設定されたアプリケーションクラスを含むことを特徴とする請求項 1 9 に記載の W T R U。